

理科カリキュラムを考える会

第12回 全国大会



「理科教育の国際化と日本からの発信」

2011年 1月 9日(日)・10日(月・祝)

主催：NPO法人 理科カリキュラムを考える会
協賛：株式会社朝日ネット
株式会社ベネッセコーポレーション
株式会社エデュケーショナルネットワーク
株式会社文理
レゴジャパン株式会社 レゴエデュケーション
株式会社アルファ企画
新日本電工株式会社

第1日(1月9日) 13:00～18:00(受付開始 12:00)

- 開会の挨拶 「日本が問題解決能力でも世界標準を超えるために」
滝川洋二(東海大学教育開発研究所)
- 基調講演 「PISA リテラシーの意味— PISA2009 の結果をふまえて」
松下佳代(京都大学高等教育研究開発推進センター)
- 事例報告
「アメリカの物理教育カリキュラム・ILDs を用いた物理授業の実践」
岩間 徹(平安女学院中高アドバンス物理研究会)
「仮説実験授業と海外の理科教育理論との比較」
塚本浩司(千葉県立柏南高校・仮説実験教育研究会)
「明治以来の日本の科学教育のレベルの高さの新証拠」
小林昭三(新潟大学)
- 議論の時間 「理科教育の改善と海外の事例について」
長濱 元(東洋大学)
- 懇親会(19:00～) 会費¥4,000、鳥兆

第2日(1月10日) 9:30～16:00(受付開始 9:00)

- 講演 「新学習指導要領の実施—期待と課題」
清原洋一(文部科学省教科調査官)
- 「理科カリキュラムの提案と検討」
小中高理科カリキュラム研究会
- 分科会(会員による研究発表)
「科学的概念を形成するための探究活動の評価基準」
佐々木清(郡山市立明健中学校)
「NZ ラザフォード校とのレゴを使った問題解決型学習」
佐藤克行(駒沢学園女子中学・高等学校)
「米国ローレンス科学教育研究所開発の理科カリキュラム FOSS を実施して」
白敷哲久(昭和女子大附属小学校)
** 分科会発表はまだ募集中です **
- 世界各国の理科教育について(午後)
「モンテッソーリの幼児教育—就学後の理科教育に必要なメンタリティー・スキルを育てる」
小川直子(ロヨラ大学・国際モンテッソーリ協会)
「イギリスの理科教育について—探究活動などを中心に—」
笠 潤平(香川大学)
「フィンランドの理科教育から見える日本の理科教育の課題」
内山裕之(近大姫路大学)
- 議論の時間 「海外の理科教育 学ぶべきこと/日本からの発信」
- 閉会行事

申し込み・問い合わせ

次の内容を、電子メールまたは郵送にてお送りください。

【お名前】【ご所属】【ご連絡先 E メールアドレス】【本会会員 / 非会員】

【懇親会への参加 / 不参加】【2日目の昼食弁当(有料)の要 / 不要】

電子メール: sympo@rikakari.jp 理科カリキュラムを考える会事務局

郵送: 〒195-0063 町田市野津田町 2094-8 小川慎二郎

お申し込みされなくても参加できますが、資料準備・懇親会予約・弁当用意のため、是非事前にお申し込み下さい。

ウェブサイト <http://www.rikakari.jp/sympo/>

ポスターセッション発表者

- 「微生物を育てて観察しよう (SPP)」
深田純司(駒沢学園女子中学・高等学校)
- 「海外連携校と行うロボット教育に関する研究」
佐藤克行(駒沢学園女子中学・高等学校)
- 「高効率のエネルギー変換に関する理科授業の研究」
佐藤克行(駒沢学園女子中学・高等学校)
- 「CASIO ハイスピードカメラを用いた実験」
小川慎二郎(早稲田佐賀中学・高等学校)

出展企業

- 独立行政法人科学技術振興機構
- 株式会社朝日ネット
- 株式会社ベネッセコーポレーション
- 株式会社エデュケーショナルネットワーク
- 株式会社文理
- 株式会社アルファ企画
- 新日本電工株式会社

大会の様子は
USTREAM
で配信します

ポスターセッションと企業展示は、両日とも行われます。参加者はまだ募集中です。

参加費

事前申し込み

一般……3,000円 会員……2,000円 学生……1,000円

当日申し込み

一般……3,200円 会員……2,200円 学生……1,000円

※参加費は当日会場にて

会場

東洋大学(白山第二キャンパス) B棟2階

都営地下鉄三田線「白山」駅 A1 出口から徒歩 6 分

東京メトロ南北線「本駒込」駅 1 番出口から徒歩 10 分



地図の出典：東洋大学 HP